

◎原子力の規制及び原子力安全の研究開発の分野における協力に関する日  
 本政府とアメリカ合衆国政府との間の交換公文の有効期間の延長等に  
 関する交換公文

(略称) 米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極の有  
 効期間の延長等に関する取極

平成 十四年 十月 十日 ワシントンで  
平成 十四年 十月 十日 効力発生  
平成 十四年十二月 二十日 告示

(外務省告示第四四七号)

目次	ページ
日本側書簡	.....
米国側書簡	.....

米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極の有効期間の延長等に関する取極

## 日本側書簡

(原子力の規制及び原子力安全の研究開発の分野における協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の交換公文の有効期間の延長等に関する交換公文)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、原子力の規制及び原子力安全の研究開発の分野における日本国とアメリカ合衆国との間の協力に関し日本国政府の代表者とアメリカ合衆国政府の代表者との間で行われた最近の討議に言及する光榮を有します。

本使は、前記の分野において、両政府の間に存在する相互に有益な関係を考慮し、千九百九十七年十月十五日にワシントンにおいて交わされた日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の合意を構成する交換公文を、同交換公文6の規定に従って、二十二年十月十五日から更に五年間延長することを日本国政府に代わって提案する光榮を有します。

本使は、前記の交換公文に基づく日本国科学技術庁及び日本国資源エネルギー庁のすべての権利及び義務が、それぞれ日本国文部科学省及び日本国原子力安全・保安院に承継されたことを確認する光榮を有します。

本使は、更に、前記のことがアメリカ合衆国政府にとって受諾し得るものであるときは、この書簡及び閣下の返簡が両政府間の合意を構成し、その合意が閣下の返簡の日付の日に効力を生ずるものとすることを提案する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二十二年十月十日にワシントンで

米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極の有効期間の延長等に関する取極

### Translation

(Japanese Note)

Washington, October 10, 2002

#### Excellency:

I have the honor to refer to recent discussions between the representatives of the Government of Japan and the Government of the United States of America concerning cooperation in the field of nuclear regulatory matters and nuclear safety research and development between Japan and the United States of America.

In consideration of the mutually beneficial relationship between the two Governments in the above-mentioned field, I have the honor to propose on behalf of the Government of Japan that the Exchange of Notes effected at Washington on October 15, 1997, which constituted an agreement between the Government of Japan and the Government of the United States of America be extended, in accordance with paragraph 6 of the Notes, for an additional five-year period beginning on October 15, 2002.

I have the honor to confirm that all the rights and obligations under the Exchange of Notes of the Science and Technology Agency of Japan and the Agency of Natural Resources and Energy of Japan were respectively succeeded to by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan and the Nuclear and Industrial Safety Agency of Japan.

I have the further honor to propose that, if the foregoing is acceptable to the Government of the United States of America, this Note and Your Excellency's Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments, which will enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

Accept, Excellency, the renewed assurances of my highest consideration.

米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極の有効期間の延長等に関する取極

アメリカ合衆国駐在  
日本国特命全權大使に代わる 片上慶一

For the Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan,  
(Signed) Keiichi Katakami

アメリカ合衆国  
国務長官 コリン・L・パウエル閣下

His Excellency  
Mr. Colin L. Powell  
The Secretary of State  
of the United States of America

## 米国側書簡

(米国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本長官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本長官は、更に、前記のことがアメリカ合衆国政府にとって受諾し得るものであることをアメリカ合衆国政府に代わって確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成し、その合意がこの返簡の日付の日に効力を生ずるものとすることに同意する光栄を有します。

本長官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二十二年十月十日にワシントンで

アメリカ合衆国  
國務長官に代わる ジョン・S・ウルフ

アメリカ合衆国駐在  
日本國特命全權大使 加藤良三閣下

米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極の有効期間の延長等に関する取極

(U.S. Note)

Washington, October 10, 2002

Excellency:

I have the honor to acknowledge the receipt of your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have the further honor to confirm on behalf of the Government of the United States of America that the foregoing is acceptable to the Government of the United States of America and agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments, which will enter into force on the date of this Note in reply.

Accept, Excellency, the renewed assurances of my highest consideration.

For the Secretary of State,  
(Signed) John S. Wolf

His Excellency  
Mr. Ryozo Kato  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the United States of America

米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極の有効期限の延長等に関する取極

(参考)

この取極は、平成九年十月十五日に署名された米国との原子力の規制及び原子力安全の研究開発協力取極（平成九年二国間条約集参照）について、同取極の有効期間を平成十四年十月十五日から五年間延長すること並びに同取極に基づく科学技術庁及び資源エネルギー庁のすべての権利及び義務がそれぞれ文部科学省及び原子力安全・保安院に承継されたことを日米両政府間で確認するものである。